えんちゃん新聞

平成25年６月発行　第５号

第６回さくら祭り

平成25年４月13日、偕楽園にて第６回さくら祭りを開催しました。当日は晴天に恵まれ、入所者の皆様だけでなく、ご家族様や近隣の子どもたちも多く来園し大盛況となりました。

今年のステージ企画は子供和太鼓から始まり歌と踊り、フラダンス、エイサー、ひょっとこ踊りと多様なものをお届けできたと思います。特に子供和太鼓は、迫力のある音でさくら祭りのスタートを勢いづけてくれました。

普段なかなか目にすることのないひょっとこの独特な動きに大笑いする声や、フラダンスを一緒に踊る姿が見られ、皆様それぞれ大いに楽しまれたのではないでしょうか。

模擬店は、焼きそば、焼き鳥、ぜんざい、大福、クレープなどと数多くあり「どれにしようかな～」と笑顔で選ばれている姿が見られ、初出店の焼き餃子やプリンなども大賑わいとなりました。皆様あっと言う間に時間が過ぎていったようです。

これまでのさくら祭りには無かった昔遊びコーナーでは、射的や型抜き、ストラックアウトなどを行い、子どもから大人まで必死になる姿が見られました。子どもたちの楽しそうな姿を見つめる入所者の皆様は、とても穏やかな表情をされており、昔を思い出されていたのではないでしょうか。

また、今回はポニーのチロル君にも来園してもらい、記念撮影をしたり触れてみたりと皆様大変喜ばれていました。

エンちゃん喫茶

5月15日、グループホームの屋上にてエンちゃん喫茶を行いました。当日は快晴となり、グループホームまでの移動も良い気分転換となったようでした。

エンちゃん喫茶では、杏仁豆腐やアイス、スムージーなどのメニューからお好きなものを選んでいただき、お店に来たような雰囲気を味わっていただけたのではないでしょうか。また、屋上からの景色は海も山も見え、「こんな見晴らしのいいところで美味しいものが食べられるなんて、一生の思い出になった」などと話される方もいらっしゃいました。

今後もぜひこのように皆様の思い出に残る行事を考えていきたいと思います。

端午の節句

5月5日、端午の節句ということで皆様には行事食を召し上がっていただきました。

鯉のぼりのお稲荷など、目で見ても楽しめる食事となり「かわいくて食べるのがもったいない」といった声も聞かれました。

普段とは異なる食事や雰囲気作りを行い、今後も皆様に季節を感じていただける内容を考えていきます。

端午の節句とは

端午とは月の初めの午という意味で、5月に限ったものではありませんでした。季節の変わり目である端午の日に、病気や災厄を避けるため、菖蒲を飾り、皇族や臣下に薬草を配っていました。

後にこの菖蒲と尚武をかけ、盛大に祝うようになりました。こうしたことから自然と端午の節句は男の子の誕生を祝う日と変化していきました。

特集記事

消防訓練

4月18日、消防訓練を行いました。今回の訓練では夜間火災が発生したことを想定し、被害を最小限に抑えるためにはどう行動すべきかを再確認しました。

職員が少ない夜間帯での火災発生時は、隣接事業所や近隣住民の方々の協力が必要不可欠です。今後も徹底した訓練を行い、入所者の皆様に安心して過ごしていただけるよう努めていきます。

新入職員紹介

偕楽園に新たな職員が入職しましたのでご紹介致します。※今回新入職員には左記の質問に答えていただきました。

【QUESTION】

1. 特技
2. やりたいこと（夢）
3. 好きなアーティスト
4. 長所
5. 休日の過ごし方
6. 目標

竹ノ下　誠
介護職員

1. スポーツ（特にサッカー）
2. 家を建てること
3. Superfly
4. 明るいところ
5. 家族と過ごす・運動をする
6. 介護福祉士の資格を取る

行事のお知らせ

6月5日　生花クラブ
6日6日　お誕生会　2階
6月7日　おやつレク　1階
6月15日　体操レク　2階
6月19日　中華バイキング
6月21日　おやつレク　1階
6月26日　お誕生会　2階
6月26日　出張理美容室
7月3日　生花クラブ

原田　照夫
用務

1. 体を動かすこと
2. 旅行
3. 八代亜紀
4. 明るくお人よし
5. ゴルフの練習・花の手入れ　ドライブ
6. 病気をしないこと

編集後記

汗をかく程熱い日々が続いていたかと思うと梅雨入り。これからは雨の日が続きそうです。ジメジメした天候に憂鬱な気持ちになる方もいらっしゃるかもしれませんが、お気に入りのレイングッズを見付けるなどしてこの季節を楽しんでみてください。

偕楽園の職員はこのジメジメに負けず、カラッと元気に入所者の皆様と過ごしております。